

第1回 学校評価アンケート（7月実施）結果より

アンケートの結果から以下のようなことが明らかになりました。
（数字は肯定的な意見の割合です）

①授業に意欲的に取り組むことができている。

教職員 95.5% 保護者 79.3% 生徒 90%

→ 落ち着いて授業に臨み、進んで学習に取り組もうとしている生徒が多いことがわかります。

②授業の「目標」「ねらい」を理解して授業を受けている。

教職員 90.9% 保護者 67.2% 生徒 84.8%

→ 本年度の学校経営方針の一つである「授業における目標やねらいを明らかにする」という項目が反映されています。

③あいさつや時間、生活についての決まりを理解して守っている。

教職員 100% 保護者 87% 生徒 91.6%

→ 自らルールや決まりを守ることの大切さを意識して、学校生活を送っています。

④学校はいじめがなく、安心して楽しく過ごすことができている。

保護者 87.1% 生徒 89%

→ 肯定的な意見が多いですが、11%の生徒が不安をもっていることを受け止め、今後も日常の見守りと聞き取りによるいじめやトラブルの早期発見、生徒への支援を継続していきます。

特に、まだ人間関係が不安定な1年生に否定的な意見が多いことに注目し、コミュニケーションの取り方についても計画的に指導していきます。

⑤先生は自分たちの意見に耳を傾けたり悩みについて相談に乗ってくれたりする。

教職員 90.9% 保護者 79.3% 生徒 89%

→ 概ね肯定的ですが、「あまりそう思わない」「そう思わない」と答えた保護者・生徒がそれぞれ10%程度存在することについては、今まで以上に生徒の変化や気持ちに寄り添う働きかけが必要です。

《以下は評価が低かった項目です》-----

⑥自分に合った勉強法の工夫をしている。

教職員 63.6% 保護者 43.1% 生徒 61.5%

→ 与えられた学習（塾なども含めて）を中心に取り組んでいる生徒が多いかもしれません。授業においても自らが課題の解決方法を探究していく学習に変換していく必要があります。自分の目標を達成したり課題を解決するための最良の方法を模索していく生徒を育てるため、授業や学活を通してアドバイスを続けていきます。

⑦ボランティア活動や地域の活動に興味があり、参加しようとしている。

教職員 50% 保護者 35.4% 生徒 46.6%

→ ボランティア活動に参加した生徒に「お昼の校内放送」を利用して報告させ、感想・やりがいを伝えることを通して啓発していきます。また、外部のボランティアだけでなく、清掃活動や校内の環境整備といった行動を通じてボランティア精神を育成していきます。